

来るべき

入場無料

大震災に備える

福祉施設と地域住民がやるべきこと・できること

日時 平成25年1月22日(火)

13:30~15:30

場所 港文化小劇場

● 公共交通機関をご利用ください



過去の巨大地震からの教訓や想定される大震災の港区での被害などについて学ぶことで、いま私たちがすべきことは何かを考え、そこから、まずできることを始めてみませんか。

福祉施設を利用される方や地域の方々にも災害時に援護の必要な方がいらっしゃいます。被害を最小とするために皆さんが力を合わせて対応できるようしっかり準備を始めましょう。

1. 東日本大震災から学ぶ

～福祉関連施設における震災対策と津波避難～

講師: 小助川 進 氏

特別養護老人ホーム 赤井江マリンホーム 園長
(宮城県岩沼市・仙台空港近隣に所在)

2. 南海トラフ巨大地震に備える

～港区で起こりうる被害とその対策～

講師: 高崎 賢一 氏

名古屋みなと災害ボランティアネットワーク代表

講師 小助川 進 氏 (こすけがわすすむ)



2007年1月 岩沼市高齢者保健福祉計画検討委員
2009年4月 社会福祉法人ライフケア赤井江常務理事、特別養護老人ホーム赤井江マリンホーム園長、宮城県老人福祉施設研究会議理事

プロフィール

※特別養護老人ホーム赤井江マリンホームの現況
東日本大震災による大津波の影響により、沿岸より250mと太平洋を間近に建てておりました赤井江マリンホームは全壊。建物・設備も使用不可能な状態になりましたが、幸いなことに、1人の犠牲者も無く利用者の方々、職員が避難出来たことが唯一の救いです。

高崎 賢一 氏 (たかさき けんいち)

名古屋市主催の災害ボランティアコーディネーター養成講座を受講後、ボランティア団体を立ち上げ、平常時は防災講座や防災訓練の企画支援、防災イベントなどを行うほか、被災現場にも数多く足を運び、被災者支援を行っている。